

TV TOKYO Corporation

digital

デジタル・セブン 2010年冬号



TV TOKYO
digital 7_{ch}

第43期 中間報告書
2010.4.1~2010.9.30

特集

テレビ東京ホールディングスの 可能性

3社の協業が生み出すシナジー

Contents

- 1 テレビ東京ホールディングス誕生
TV TOKYO Holdings Corporation
- 2 株主の皆様へ
To Our Stakeholders
- 3 特集:テレビ東京ホールディングスの可能性
Special Feature
- 7 事業概況
Update
- 10 2011年3月期 第2四半期
連結財務ハイライト
Financial Highlights
- 11 財務データ(2011年3月期 第2四半期決算)
Financial Data
- 13 会社情報
Corporate Information
- 14 株式情報
Stock Information

43
Interim
Winter 2010



TV TOKYO HD
txhd.co.jp



株式会社テレビ東京



3社の力を一つに。
責任あるメディアとして文化の創造に貢献する。

10月1日 テレビ東京ホールディングス誕生

テレビ東京は、BSジャパン、テレビ東京ブロードバンドと経営統合し、
認定放送持株会社「株式会社テレビ東京ホールディングス」を設立しました。

コンテンツ制作力を今まで以上に高めるとともに、
地上波、BS・CS波、インターネット・モバイル、FMラジオ等のメディアを
多角的に活用することで、広く深く効率的にコンテンツを届ける
『最良・最強のメディア連合体』を目指します。





テレビ東京ブロードバンド株式会社
代表取締役社長 加藤 雅夫

株式会社テレビ東京ホールディングス
株式会社テレビ東京
代表取締役社長 島田 昌幸

株式会社BSジャパン
代表取締役社長 山田 登

映像コンテンツの 制作・放送・流通を軸に、 グループ全体の価値を高める

テレビ東京、BSジャパン、テレビ東京ブロードバンドの3社は、共同株式移転方式で、認定放送持株会社『テレビ東京ホールディングス』（以下、HD）を設立しました。これにより地上波・BS波によるテレビ放送事業、IT関連事業、及びテレビ東京の13社の連結子会社が一つになり、複数のコンテンツ流通経路が揃うこととなります。

2011年7月、テレビ業界では地上波アナログ放送が終了し、完全デジタル放送となります。その3年半後の2015年4月、テレビ東京は50周年を迎えます。これからの5年間は、テレビ東京グループにとって激動の時代となります。番組等の映像コンテンツは、テレビだけではなく、パソコンやモバイルといった様々なチャンネルで流通し始めています。高画質の映像コンテンツを楽しむ手段が多様化し、視聴者のテレビの見方が変わることで、従来型のビジネスモデルでは捉えきれない新たな宣伝手法を模索する動きが、広告主の間にも出始めています。視聴者のライフスタイルやビジネスの有様様がさらに変わる中、広告主ニーズの高度化に対応するには、様々なメディアを機能的に連携させ、活用する必要があります。

今回の経営統合にはまた、3社及び連結子会社が今まで以上に連携を強めることで、コンテンツ制作力を高め、責任あるメディアとして文化を創造するという役割を、今まで以上に果たしたいとの願いを込めています。

これまでもテレビ東京、BSジャパン、テレビ東京ブロードバンドの3社は、デジタル化への流れの中で、それぞれ企業価値を高める努力を続けてまいりました。

テレビ東京グループは、日本経済新聞社グループとの友好関係をベースにしながら「経済」「アニメ」「健全なエンターテインメント」等を中心に、特色ある番組づくりとコンテンツのマルチユースを進めてまいりました。

BSジャパンは、「経済」と「上質なエンターテインメント」を番組編成の基本に据え、「大人向けの見飽きない」作品で、着実に視聴者を増やしてまいりました。

テレビ東京ブロードバンドは、テレビ東京グループのIT戦略企業として、インターネット・モバイル分野において、コンテンツの配信事業を展開してまいりました。

このように別々の媒体でありながら相関性が高く、親和性の高い3社だからこそ、経営統合によって、グループとしての価値を最大限に高めることが可能だと考えます。

これから迎える変革期は、HDにとって大きなチャンスです。グループが一丸となって、これまで培ってきたノウハウを最大限に活用しながら、グループならではの独自性の強いコンテンツを創造し、メディア連合体の利点を活かして一人でも多くの人々に楽しんでもらえる工夫をしてまいります。

新生テレビ東京ホールディングスにご期待ください。

今後もより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社テレビ東京ホールディングス
株式会社テレビ東京
代表取締役社長

島田昌幸

テレビ東京ホールディングスの可能性

3社の協業が生み出すシナジー

テレビ東京(TX)、BSジャパン(BSJ)、テレビ東京ブロードバンド(TXBB)は、これまでも、地上波、BS波、インターネット・モバイルの連携を展開し、様々なノウハウを蓄積してきました。

例えば

放送(地上波・BS波) × インターネット・モバイル

- 「ピラメキーノ」(TX) × モバイル「ファンクラブサイト」(TXBB)の運営
- 「カンブリア宮殿」(TX)、「デキビジ」(BSJ)等の番組収録模様をインターネット上(ユーストリーム)で配信(TXBB)

地上波 × BS波

- 「ペット大集合!ポチたま」(TX 2010年3月終了) → 「だいすけ君が行く!!ポチたま新ペットの旅」(BSJ)
- 「ワールドビジネスサテライト」(TX) → BSJにて1時間ずらしてOA
- 「ワールドビジネスサテライト」(TX) → 「小谷真生子のKANDAN」(BSJ)
- 「開運!なんでも鑑定団」(TX) → 「鑑定団が3倍面白くなる!目からウロコの骨董塾」(BSJ)
- BSジャパン開局10周年記念番組「頂の彼方に…栗城史多の挑戦」(BSJ) → 「地球の頂へ 栗城史多エベレスト挑戦」(TX)

BSジャパン開局10周年記念番組

「What a wonderful world! 美しい地球への讃歌」

では、テレビ東京(制作)、BSジャパン(放送)、
テレビ東京ブロードバンド(デジタルコンテンツ配信)の
3社共同事業に発展しています。

次ページ参照 ⇨

テレビ東京ホールディングスでは、
統合する3社の独自性を活かしながら、
ますます連携を強め、映像コンテンツを中心とした
新しい収益モデルを戦略的に生み出していきます。

テレビ東京

- 番組の企画、制作
- 地上波放送
- 番組等を二次利用する商品化等のライセンス事業



BSジャパン

- BS放送



テレビ東京ブロードバンド

- デジタルコンテンツの企画、開発、制作、配信事業



TV TOKYO digital

TX

テレビ東京



HDを司令塔に、3社の強みを最大限に発揮して、テレビ東京グループならではの魅力ある番組コンテンツを提供するとともに、これからの時代を乗り切る新しい収益モデルをつくり、育てていきます。

BS JAPAN

BSJ

BSジャパン



BSデジタル放送の視聴可能世帯は全世帯の50%を大きく超え、高い評価を得られるようになりました。今後も高画質・高音質の上質な番組づくりにまい進することで、グループ全体のシナジーに貢献します。

TXBB

TXBB

テレビ東京ブロードバンド



放送と通信の連携が加速します。我々はHDのインターネット・モバイル部門として、デジタルコンテンツづくりの専門性と効率性の強みを活かし、番組コンテンツの可能性を最大限に引き出し、ビジネス化します。

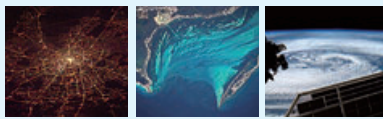
BSジャパン開局10周年記念番組

What a wonderful world! 美しい地球への讃歌

昨年末から今年6月まで、国際宇宙ステーションに滞在した野口聡一宇宙飛行士がTwitterに公開した美しい地球の写真に、大勢の人が夢中になりました。そして、この美しい写真と国内外の一流ミュージシャンの名曲のコラボレーションが実現!

BSジャパン開局10周年記念番組「What a wonderful world! 美しい地球への讃歌」として5月にOA。好評を得て、その後、テレビ東京でもOAいたしました。OA後、「写真集がほしい」との声に応え、iPhone、iPad向け電子写真集「GAIA What a wonderful world!」が発売されました。企画・販売はテレビ東京、電子写真集の制作・配信はテレビ東京ブロードバンド、そしてBSジャパンが告知という、3社連携のコンテンツです。200枚の高解像度写真のダウンロードや野口さんのTwitterの和訳、BGMの選曲等、電子写真集ならではの機能も満載で、発売から2ヵ月余りで販売本数1万本を突破しました。

野口聡一宇宙飛行士



写真提供:JAXA/NASA

twitter

野口さんが宇宙から
発信した画像と
文章が話題に

Step 1

地上波・BS波でOA

Step 2

BSJ



放送

TX



企画・制作・放送・販売

TXBB



アプリ制作・配信

美しい画像を写真集にして、
iPhone、iPad用の
アプリで提供

Step 3

タッチパネルでページを
めくって、本当の写真集みたい!
好きな曲をBGMに選ぶことも
できます。

解説

- 1 Twitterは、インターネット上のサービス。野口さんは600枚を超える写真を撮り、コメントとともにTwitter上に公開。世界中の人が写真とコメントを楽しみました。
- 2 (BSJ)2010年5月22日 OA (TX)2010年7月3日 OA
- 3 2010年8月31日より、電子書籍アプリとしてApp Storeにて230円(税込)で販売。発売から2ヵ月余りで、販売本数1万本を突破しました。

大江麻理子アナウンサー



Q 経営統合のメリットは？

A グループ内の資源を有効活用し、大胆な事業展開が容易に。大きく分けて4つのメリットがあります。

1 コンテンツを効果的に提供する体制を構築

テレビ東京及びその関係会社が有する地上波・CS波・FMラジオという媒体に加え、BSジャパンのBS波、テレビ東京ブロードバンドのインターネット・モバイルにおいても、様々なコンテンツを効率的に視聴者・利用者に提供する体制を構築することが可能になります。

また、グループ内のヒト、モノ、カネという資源を有効活用し、映像等のコンテンツの販売・流通経路をより大胆に広げることが容易になります。例えば、過去の様々なジャンルの未放送収録素材や取材テープ、グループ内で権利を保有するコンテンツの多角的な活用。今まで使い捨てとなっていたり、十分に活用しきれなかったコンテンツを、BS波、インターネット・モバイルといった新たな販路で展開することで、グローバルな展開も大きく拡充していきます。この第一歩として、テレビ東京編成局放送ライブラリーセンターを廃止し、グループ内の番組素材や関連資料等を一括管理するメディア・アーカイブセンターを、テレビ東京とテレビ東京ホールディングス(以下、HD)に新設しました(10/1付)。

2 グループのさらなる競争力強化を実現

放送と通信の連携を具現化するとともにグループの持つあらゆる経営資源を効率よく戦略的に活用し、責任あるメディアとしての役割を果たしながら、グループのさらなる競争力強化を実現することが可能となります。

3 社会構造変化への迅速な対応

国際化の進展に合わせ、権利保護や国際会計基準への適合、コンプライアンスやコーポレートガバナンスの強化等、社会的構造変化への迅速な対応をより徹底することが可能になります。

4 新規事業展開の加速

戦略機能をHDに集約することで、グループ外企業等との提携・連携に関する判断についても、スピーディーに、より適切なタイミングで実行することが可能になります。既存事業の強化に加えて、コンテンツの特性に応じて最適なパートナーを選択し事業展開するなど、新規事業への展開力が増すことも期待できます。

Q 統合後は、どのような会社を目指すのでしょうか。

A コンテンツ制作力を核とした「最良・最強」のメディア連合体を目指します。

HDが司令塔の役割を担い、テレビ東京、BSジャパン、テレビ東京ブロードバンドの独自性を活かしながら連携し、経済を中心とした報道番組、健全なエンターテインメント、アニメといった特色のある番組を開発・制作し、豊かなコンテンツを広く効率的にお届けします。グループ全体が共通の目標に向かうことで、多様化する視聴者のライフスタイル、映像コンテンツの視聴環境、広告主のニーズ等に、スピーディー且つ柔軟に対応していきます。

魅力的なコンテンツ制作、販路の有効活用、新規事業への挑戦等、企業価値を高めていくためには、人事・組織面で、活発な改革を進めていきます。

一方で、組織や体制が大きく変わっても、変わらないものがあります。それは私たちの「創造する精神」です。地上波、BS波、CS波、FMラジオ、インターネット・モバイル等あらゆるメディアを通じてコンテンツが流通するようになりますが、最も大切なことは、コンテンツが持つ力そのものです。独創的なエンターテインメント、ニュース、ドキュメンタリー等を小さな組織で効率的につくってきたスピリット、独創的なコンテンツを通じて世の中の人に多くの情報、知恵、勇気、感動を送り続けてきたスピリットは、今後もテレビ東京グループ全体に継承され、「最良にして最強」のものづくり集団であるテレビ東京グループの、未来に続く力となっていきます。

Q 今後の成長戦略を教えてください。

A 地上波を柱に、HD全体で、連結売上・利益の向上を目指します。そのために、HD横断プロジェクトを立ち上げるなど、連携を進めていきます。



事業強化への施策

1

テレビ東京

地上波放送での視聴率向上に向けた取り組み

- メディア連携による番組宣伝や番組への誘導強化

2

テレビ東京・BSジャパン

制作費の適正配分等、資源配分の検討

3

HD横断プロジェクトの立ち上げ

デジタル関連プロジェクト

- TXBBとテレビ東京デジタル事業局における業務効率改善
- 番組連動によるTXBBキャラクター事業の強化
- ウェブ、モバイル事業を強化し、第3のメディアへ位置づける

海外戦略プロジェクト

- 世界マーケットを意識したコンテンツ開発体制
- アニメ以外の番組販売も強化

テレビ東京ホールディングス 株主優待制度

テレビ東京ホールディングスでは株主の皆様へのサービスの一環として株主優待制度を設定いたしました。

※テレビ東京ホールディングスの株主優待制度は2011年3月31日基準日から実施いたします。

基準日	優待内容
毎年3月31日（100株以上所有の株主様）	<ul style="list-style-type: none"> ● オリジナルクオカードの贈呈 ● 公開番組「夏祭りにっぽんの歌」へ抽選招待
毎年9月30日（100株以上所有の株主様）	<ul style="list-style-type: none"> ● 公開番組「年忘れにっぽんの歌」へ抽選招待

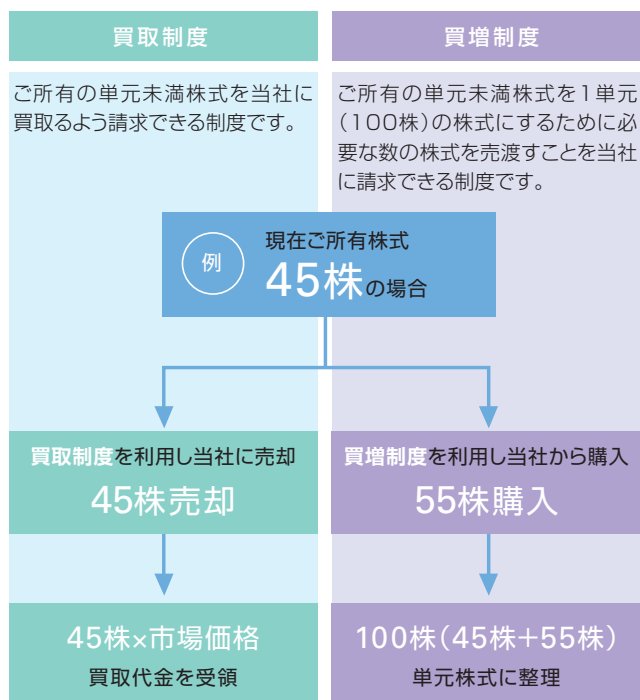
単元未満株式の買取・買増制度のご案内

当社株式の証券市場での売買単位は100株です。100株未満（単元未満株式）は、証券市場での売買ができず、株主総会での議決権を行使できないほか、株主優待の対象外になるなどの制約があります。

このようなご不便を解消するために、単元未満株式の「買取」または「買増」制度を設けましたので、ご案内申し上げます。

※会社設立直後で自己株式の残高がないため、現在、買増手続きは停止しております。買増請求に応じる株数を確保でき次第、受付を開始いたしますので、事前にお取引口座のある証券会社等（口座管理機関）にてご確認ください。

① 単元未満株式の買取・買増制度の概要



※買取価格及び買増価格は、当該請求が当社の株主名簿管理人の事務取扱場所に到着した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格に当該請求株数を乗じた額となります。

このご案内は、単元未満株式の買取請求または買増請求を強制するものではありません。請求に際しましては、株主様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

② お手続きの方法

単元未満株式が記録されている口座によってお手続きの窓口が異なります。

証券会社の口座に記録されている単元未満株式

お取引口座のある証券会社（口座管理機関）にお問い合わせください。

特別口座に記録されている単元未満株式

特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。

元（株）テレビ東京の株主様	みずほ信託銀行（株）証券代行部	0120-288-324
元 テレビ東京ブロードバンド（株）の株主様	三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部	0120-232-711

※ともに通話料無料 土・日・祝祭日を除く平日9時～17時

※特別口座とは、株券電子化実施日において「（株）証券保管振替機構（ほふり）」をご利用できない株主様の権利を確保するために、当該株主様の名義で開設した口座です。

③ 手数料

単元未満株式が記録されている口座	当社に対する手数料	口座管理機関に対する手数料
証券会社の口座	無料	お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
特別口座		無料

④ ご注意事項

- 買取請求及び買増請求をされた後の取消しはできません。
- 決算期の基準日直前等、請求の受付を停止する期間があります。
- 買増制度を利用し単元株式に整理されても、特別口座のままでは市場での売却はできません。証券会社の口座にお振替いただくことが必要になります。

事業概況

放送収入のうちタイム収入は、広告主の短期的出稿へのシフトからレギュラー番組セールスの落ち込みがあったものの、「世界卓球2010」「サッカーW杯南アフリカ」「封印された三蔵法師の謎」等の大型特番があり、261億2千2百万円となりました。スポット収入は、前年度後半から市況に回復の兆しが見え、112億1千2百万円となりました。タイム・スポットトータルでは373億3千4百万円、BS等収入は4億7千3百万円でした。

番組販売収入は、4月改編による「田舎に泊まろう！」「ペット大集合！ポチたま」等、ローカル局への売上が好調だった番組の終了が響き、22億7百万円となりました。

ソフトライツ収入のうち、一般番組では、「マジすか学園」「嬢王Virgin」等のDVD販売が好調でした。アニメ事業では、「NARUTO」「遊戯王」「ポケットモンスター」の主力番組に加え、「たまごっち」「イナズマイレブン」等の新規番組が健闘したものの、国内外の不況を反映し、低調でした。映画事業は、タイトルが少なく、ビデオグラムに関してもDVD市況の冷え込み等が影響して低調でした。全体としてソフトライツ収入は45億2千4百万円となりました。

イベント収入は、「東京インターナショナル フラワー&ガーデンショー」や「フィギュア名曲コンサート」が不調だったものの、冬季オリンピックの好影響を受けた「スターズ・オン・アイス ジャパンツアー2010」が好調で、13億2千3百万円となりました。

一方、費用面では、サッカーW杯による番組制作費の増加等もあり、452億3千4百万円となりました。以上の結果、地上波放送事業の売上高は、458億6千3百万円、営業利益は6億2千8百万円となりました。

Promotional Pictures

- 1 やりすぎコージー 都市伝説スペシャル
- 2 和風総本家SP
- 3 池上彰の戦争を考えるSP
- 4 毎日かあさん
- 5 マジすか学園
- 6 スターズ・オン・アイス ジャパンツアー2010

What's TV?

タイム収入	タイムCM(原則30秒)による収入。タイムCMとは特定の番組を提供するCMのことで、広告主は番組の制作費・電波料を負担します。系列局を通じてCMを放送するネット部門と、当社の放送エリア(1都6県)のみCMを放送するローカル部門に区分されます。
スポット収入	スポットCM(原則15秒)による収入。スポットCMとは番組と番組の間に放送するCMのことです。CMの放送は当社の放送エリアのみに限られます。
番組販売収入	当社の番組を他の放送局に販売することで得られる収入。系列局以外にも番組を販売しており、系列ネットワークがカバーする地域外でも当社の番組は視聴されています。
ソフトライツ収入	<p>放送番組の周辺権利を利用した事業 放送番組のビデオ化や海外販売、出版化、ゲーム化等を通じて収益を上げる事業</p> <p>映画出資事業 映画への出資により、興行収入やビデオ化、放映権の販売等を通じて収益を上げる事業</p>
イベント収入	スポーツ競技や文化イベントの主催等により収益を上げる事業

1



2



3



4



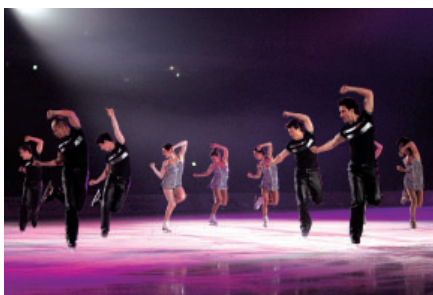
©西原理恵子・MTN

5



©「マジすか学園」製作委員会

6



事業概況

通信販売関連では、テレビ東京ダイレクトが制作している「ものスタ MOVE」等のテレビ通販売上が7月、8月を中心に好調に推移し、売上高は半期としては過去最高の42億4千万円となりました。

CS放送関連では、エー・ティー・エックスが運営するアニメ専門チャンネル「アニメシアターX(AT-X)」の加入者数が9月に12万6千件を超える等、順調に視聴者数を増やしてきており、売上高は20億1千万円となりました。

音楽出版関連では、CD売り上げの伸び悩み等、業界を取り巻く厳しい状況を受け、テレビ東京ミュージックの印税収入が減少し、売上高は18億2千1百万円に留まりました。

以上の結果、放送周辺事業の売上高は162億3千9百万円、営業利益は11億1千9百万円となりました。



放送周辺事業とは

テレビ番組の企画制作・技術・中継、音楽関連、CS放送、通信販売等を行っており、テレビ東京の子会社の事業を取りまとめています。

AT-Xで放送し人気を博した「とある科学の超電磁砲」



©鎌池和馬/冬川基/アスキー・メディアワークス/PROJECT-RAILGUN

10月から放送を開始した生活情報番組「7スタBratch!」では、魅力的なグッズを多数紹介



番組編成

Update

番組編成

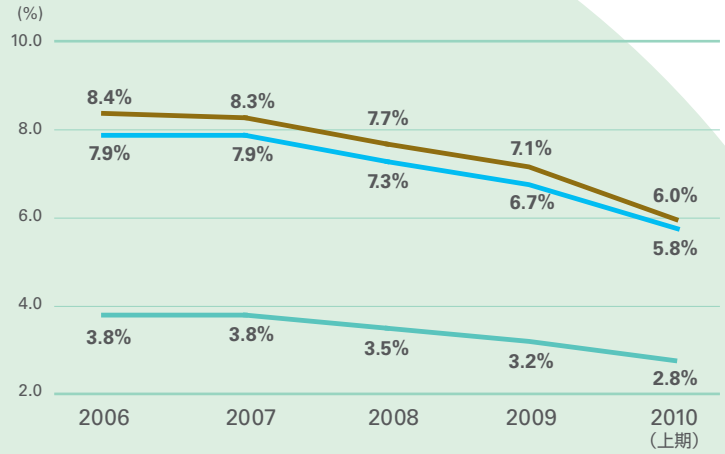
2010年度上期の部門別平均視聴率は、ゴールデン6.0%(前年同期比1.1ポイント減)、全日2.8%(同0.4ポイント減)、プライム5.8%(同0.9ポイント減)と、3部門とも前期を下回りました。

ゴールデン・プライムに関しては、アニメ「毎日かあさん」「イナズマイレブン」が、それぞれ前年同期比1.2ポイント増、0.5ポイント増となったほか、「やりすぎコージー」「空から日本を見てみよう」が前年同期を上回りました。一方、その他のレギュラー番組は、デジタルテレビの普及によりBS波への視聴者流出が加速し、苦戦を強いられました。

この状況を打破するために、レギュラー枠の拡大及び特番編成で対応した結果、「やりすぎコージー都市伝説スペシャル」(12.6%)、「和風総本家SP」(11.7%)、「池上彰・日本の大ギモン」(10.7%)、「池上彰の戦争を考えるSP」(10.4%)、「世界卓球2010(男女準決勝)」(10.3%)等が高視聴率をとりました。

10月編成では、「大人が観たい」に応えられる、テレビ東京らしいハイクオリティな番組を編成。プライムタイムに社会派現代ドラマ「モリのアサガオ」(月曜22:00～)、ゴールデンタイムに高品質バラエティ「女神のキセキ」(火曜19:54～)、「料理の怪人」(水曜21:00～)等を編成し、目の肥えた大人の視聴者に焦点を当てます。

視聴率の推移



— ゴールデンタイム (19:00~22:00)
— プライムタイム (19:00~23:00)
— 全日平均 (6:00~24:00)

高視聴率番組 レギュラー・シリーズの重複を除く

レギュラー番組



順位	番組名	放送日	視聴率 (%)
1	開運!なんでも鑑定団	10.4.6 (火) 20:54~	14.5
2	やりすぎコージー都市伝説スペシャル	10.8.16 (月) 21:00~	12.6
3	和風総本家 大調査 外国から見たニッポン驚きのギモン続出SP	10.7.1 (木) 21:00~	11.7
4	出役!アド街ック天国(野田)	10.9.18 (土) 21:00~	11.6
5	土曜スペシャル 青森から新潟 ローカル路線バス乗り継ぎ人情ふれあい旅	10.9.4 (土) 19:00~	10.6

特別番組

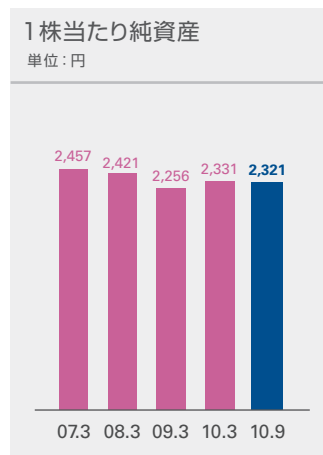
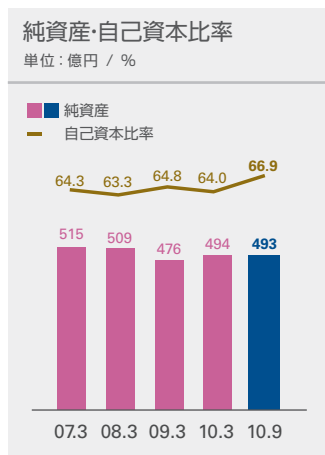
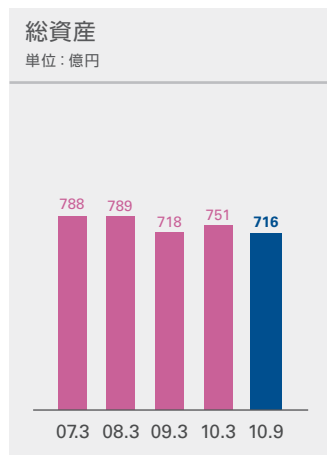
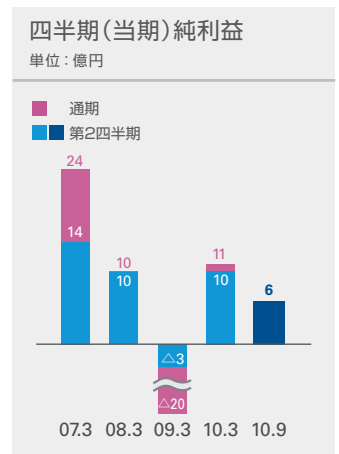
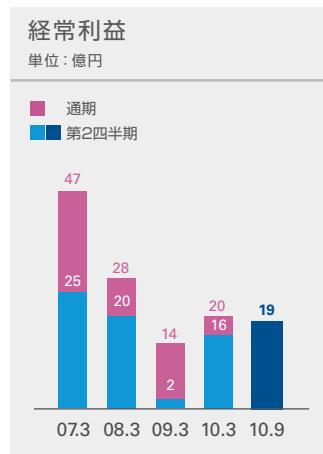
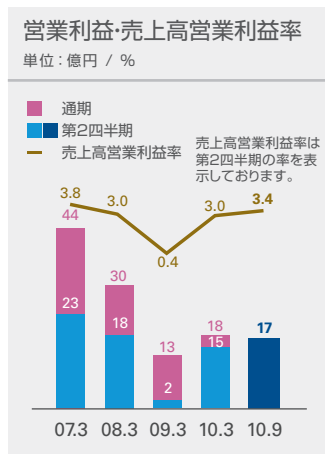
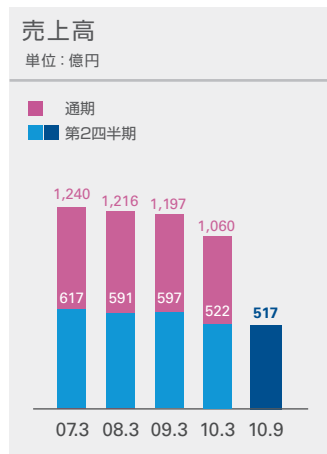


1	日曜ビッグバラエティ 池上彰がズバリ解説!これでわかる!日本の大ギモン	10.7.4 (日) 19:54~	10.7
2	池上彰の戦争を考えるSP ~戦争はなぜ始まり どう終わるのか~	10.8.15 (日) 19:00~	10.4
3	世界卓球2010(男女準決勝)	10.5.29 (土) 18:30~	10.3
4	池上彰の選挙スペシャル	10.7.11 (日) 19:54~	9.3
5	第33回隅田川花火大会	10.7.31 (土) 19:00~	9.3

Financial Highlights

2011年3月期 第2四半期連結財務ハイライト(2010.4.1~2010.9.30)

	2011年3月期 第2四半期 実績(累計)		前年同期比
売上高	517 億	57 百万円	0.9 % 減
営業利益	17 億	68 百万円	13.3 % 増
経常利益	19 億	9 百万円	13.9 % 増
四半期純利益	6 億	85 百万円	31.6 % 減



業績の概要

2010年度第2四半期連結累計期間(2010.4.1~2010.9.30)の業績をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、厳しい環境の続く中、緩やかではありますが景気回復傾向を維持しています。政府も当期間中、景気の持ち直しの判断を継続し、自立的回復への動きにも言及していますが、その一方で、景気を下押しするリスクへの警戒感も

示しており、一層の注視が必要な状況です。

このような状況で、当社グループの連結売上高は517億5千7百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は17億6千8百万円(同13.3%増)となりました。また、経常利益は19億9百万円(同13.9%増)、四半期純利益は6億8千5百万円(同31.6%減)となりました。

連結業績のご報告 (第2四半期:2010年4月1日から2010年9月30日まで)

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年 9月30日現在	2009年 9月30日現在	2010年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	41,682	44,099	43,963
固定資産	29,933	29,935	31,183
有形固定資産	15,831	15,748	16,002
無形固定資産	940	1,134	1,067
投資その他の資産	13,161	13,052	14,113
資産合計	71,616	74,034	75,147
(負債の部)			
流動負債	12,610	15,243	16,429
固定負債	9,628	9,479	9,239
負債合計	22,238	24,723	25,668
(純資産の部)			
株主資本	48,557	48,205	48,182
資本金	8,910	8,910	8,910
資本剰余金	8,684	8,684	8,684
利益剰余金	30,964	30,611	30,589
自己株式	△2	△1	△1
評価・換算差額等	△627	△149	△56
少数株主持分	1,447	1,255	1,352
純資産合計	49,377	49,311	49,478
負債純資産合計	71,616	74,034	75,147

四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年4月1日～ 2010年9月30日	2009年4月1日～ 2009年9月30日	2009年4月1日～ 2010年3月31日
売上高	51,757	52,230	106,033
売上原価	37,247	38,018	78,220
売上総利益	14,510	14,212	27,813
販売費及び一般管理費	12,742	12,651	25,939
営業利益	1,768	1,560	1,873
営業外収益	187	187	302
営業外費用	46	71	110
経常利益	1,909	1,677	2,065
特別利益	—	—	73
特別損失	667	27	47
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,241	1,650	2,091
法人税、住民税及び事業税	466	376	649
法人税等調整額	△31	75	△43
少数株主利益	122	196	293
四半期(当期)純利益	685	1,001	1,192

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年4月1日～ 2010年9月30日	2009年4月1日～ 2009年9月30日	2009年4月1日～ 2010年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,765	1,399	4,412
投資活動によるキャッシュ・フロー	△708	△1,346	△3,291
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,521	4,950	3,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	3	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	531	5,007	4,555
現金及び現金同等物の期首残高	14,325	9,770	9,770
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	—	△0
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	14,857	14,777	14,325

単体業績のご報告 (第2四半期:2010年4月1日から2010年9月30日まで)

四半期貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年 9月30日現在	2009年 9月30日現在	2010年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	38,578	41,253	41,014
固定資産	29,628	29,491	30,647
有形固定資産	14,814	14,872	14,922
無形固定資産	616	722	701
投資その他の資産	14,197	13,896	15,023
資産合計	68,206	70,744	71,662
(負債の部)			
流動負債	16,854	19,422	20,639
固定負債	8,457	8,378	8,005
負債合計	25,311	27,800	28,645
(純資産の部)			
株主資本	43,467	43,049	43,029
資本金	8,910	8,910	8,910
資本剰余金	8,684	8,684	8,684
利益剰余金	25,874	25,456	25,435
自己株式	△2	△1	△1
評価・換算差額等	△572	△106	△11
純資産合計	42,894	42,943	43,017
負債純資産合計	68,206	70,744	71,662

四半期損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年4月1日～ 2010年9月30日	2009年4月1日～ 2009年9月30日	2009年4月1日～ 2010年3月31日
売上高	45,863	45,743	93,765
売上原価	32,559	32,732	68,002
売上総利益	13,303	13,011	25,763
販売費及び一般管理費	12,675	12,361	25,232
営業利益	628	649	530
営業外収益	811	921	1,082
営業外費用	61	68	137
経常利益	1,378	1,502	1,476
特別利益	—	—	73
特別損失	624	25	61
税引前四半期(当期)純利益	753	1,477	1,488
法人税、住民税及び事業税	4	4	8
法人税等調整額	1	—	△179
四半期(当期)純利益	748	1,472	1,658

Financial Data (reference)

財務データ(ご参考)



単体業績のご報告 (第2四半期:2010年4月1日から2010年9月30日まで)

四半期貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年 9月30日現在	2009年 9月30日現在	2010年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	11,222	7,997	8,976
固定資産	1,874	4,205	3,772
有形固定資産	331	136	212
無形固定資産	57	80	71
投資その他の資産	1,485	3,988	3,488
資産合計	13,097	12,203	12,749
(負債の部)			
流動負債	916	606	1,012
固定負債	30	40	42
負債合計	947	647	1,055
(純資産の部)			
株主資本	12,116	11,519	11,658
資本金	25,000	25,000	25,000
資本剰余金	5,000	5,000	5,000
利益剰余金	△17,883	△18,480	△18,341
評価・換算差額等	33	35	35
純資産合計	12,149	11,555	11,693
負債純資産合計	13,097	12,203	12,749

四半期損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年4月1日～ 2010年9月30日	2009年4月1日～ 2009年9月30日	2009年4月1日～ 2010年3月31日
売上高	3,043	2,738	5,678
売上原価	1,772	1,823	3,696
売上総利益	1,271	914	1,981
販売費及び一般管理費	839	766	1,683
営業利益	431	148	298
営業外収益	27	25	49
営業外費用	—	—	—
経常利益	458	173	347
特別利益	—	—	—
特別損失	—	—	34
税引前四半期(当期)純利益	458	173	312
法人税、住民税及び事業税	0	0	1
法人税等調整額	—	—	—
四半期(当期)純利益	458	173	311



テレビ東京ブロードバンド株式会社

単体業績のご報告 (第2四半期:2010年4月1日から2010年9月30日まで)

四半期貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年 9月30日現在	2009年 9月30日現在	2010年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	1,165	1,134	1,183
固定資産	201	220	140
有形固定資産	105	46	39
無形固定資産	42	67	45
投資その他の資産	54	107	55
資産合計	1,367	1,354	1,323
(負債の部)			
流動負債	348	380	321
固定負債	4	4	4
負債合計	353	384	326
(純資産の部)			
株主資本	1,014	969	996
資本金	1,483	1,483	1,483
資本剰余金	—	—	—
利益剰余金	△468	△513	△486
評価・換算差額等	—	—	—
純資産合計	1,014	969	996
負債純資産合計	1,367	1,354	1,323

四半期損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年4月1日～ 2010年9月30日	2009年4月1日～ 2009年9月30日	2009年4月1日～ 2010年3月31日
売上高	1,139	1,184	2,426
売上原価	784	725	1,574
売上総利益	355	459	852
販売費及び一般管理費	340	347	719
営業利益	15	111	132
営業外収益	5	5	7
営業外費用	—	2	10
経常利益	21	114	130
特別利益	1	—	0
特別損失	0	24	43
税引前四半期(当期)純利益	22	89	87
法人税、住民税及び事業税	1	1	2
法人税等調整額	3	—	△30
四半期(当期)純利益	17	88	115

Corporate Information

会社情報 (2010年10月1日現在)



株式会社テレビ東京

会社の概要

会社名 株式会社 テレビ東京
(TV TOKYO Corporation)

本店所在地 〒105-8012
東京都港区虎ノ門4-3-12

URL www.tv-tokyo.co.jp/

開局 1964年4月12日

呼出符号 JOTX-DTV(デジタル7チャンネル)
JOTX-TV(アナログ12チャンネル)

資本金 89億1,095万円

主な事業所

本社・スタジオ(東京都港区)
天王洲スタジオ(東京都品川区)

支社・支局

関西支社 / 名古屋支社 / ニューヨーク支局 / ワシントン支局 /
ロンドン支局 / モスクワ支局 / ソウル支局 / 北京支局 / 上海支局

役員

取締役会長 菅谷 定彦

代表取締役社長 島田 昌幸

専務取締役 野村 尚宏 経理担当
犬飼 正 人事局、技術局、情報システム局担当 兼 労務担当

常務取締役 菊池 悟 営業局、アニメ局担当
藤延 直道 制作局、ドラマ制作室、報道局、スポーツ局、
グループ企業戦略室担当
高島 政明 経理担当補佐 兼 コンプライアンス局担当
辻 幹男 編成局、コンテンツ契約局担当
メディア・アーカイブセンター担当
岡崎 守恭 総務局、ネットワーク室担当
三宅 誠一 経営戦略局、広報局、新規事業推進室担当

取締役 井澤 昌平 コンテンツ事業局、デジタル事業局担当
斎藤 史郎 株式会社日本経済新聞社 専務取締役
大橋 洋治 全日本空輸株式会社 取締役会長

常勤監査役 奥川 元

監査役 三森 和彦 株式会社日本経済新聞社 経理担当付
荒木 浩 東京電力株式会社 顧問
中地 宏 監査法人ナカチ 会長・代表社員

上席執行役員 佐々木 彰 ドラマ制作担当統括プロデューサー
今泉 至明 特命事項担当
田村 明彦 アニメ局長 兼 営業局担当補佐

執行役員 高原 寛司 新規事業担当統括プロデューサー
和知 道章 コンテンツ事業担当統括プロデューサー
石川 雅一 ネットワーク室長
前田 博司 技術局長

(注) 1. 取締役 斎藤史郎氏、取締役 大橋洋治氏は社外取締役です。
2. 監査役 三森和彦氏、監査役 荒木浩氏は社外監査役です。



株式会社テレビ東京ホールディングス

会社の概要

会社名 株式会社テレビ東京ホールディングス
(TV TOKYO Holdings Corporation)

本店所在地 〒105-8012
東京都港区虎ノ門4-3-12

URL www.txhd.co.jp/

設立 2010年10月1日

資本金 100億円

役員

代表取締役社長 島田 昌幸 株式会社テレビ東京 代表取締役社長

取締役 菅谷 定彦 株式会社テレビ東京 取締役会長
山田 登 株式会社BSジャパン 代表取締役社長
加藤 雅夫 テレビ東京ブロードバンド株式会社 代表取締役社長
野村 尚宏 株式会社テレビ東京 専務取締役
犬飼 正 株式会社テレビ東京 専務取締役
菊池 悟 株式会社テレビ東京 常務取締役
藤延 直道 株式会社テレビ東京 常務取締役
高島 政明 株式会社テレビ東京 常務取締役
辻 幹男 株式会社テレビ東京 常務取締役
岡崎 守恭 株式会社テレビ東京 常務取締役
三宅 誠一 株式会社テレビ東京 常務取締役
喜多 恒雄 株式会社日本経済新聞社 代表取締役社長
大橋 洋治 全日本空輸株式会社 取締役会長
株式会社テレビ東京 取締役

常勤監査役 奥川 元 株式会社テレビ東京 常勤監査役

監査役 三森 和彦 株式会社日本経済新聞社 経理担当付
株式会社テレビ東京 監査役
荒木 浩 東京電力株式会社 顧問
株式会社テレビ東京 監査役
中地 宏 監査法人ナカチ 会長・代表社員
株式会社テレビ東京 監査役

(注) 1. 取締役 喜多恒雄氏、取締役 大橋洋治氏は社外取締役です。
2. 監査役 三森和彦氏、監査役 荒木浩氏は社外監査役です。

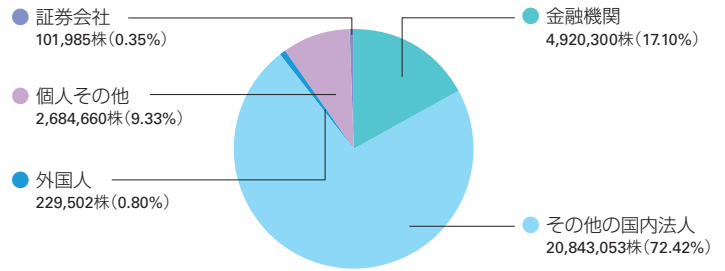
Stock Information

株式情報 (2010年10月1日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式総数 28,779,500株
 単元株式数 100株

所有者別株式分布状況

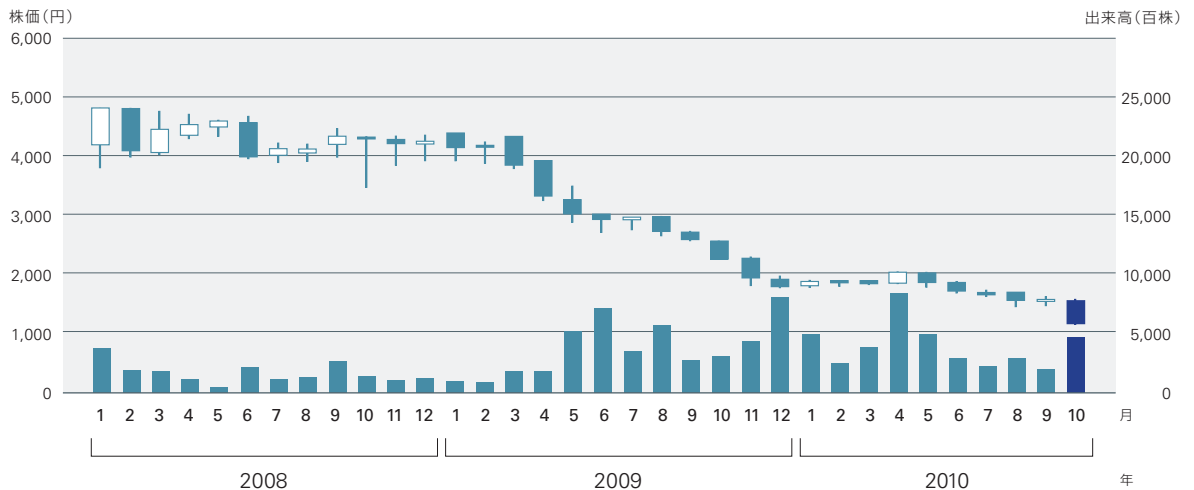


大株主

株主名	持株数(株)	持株比率 (%)
株式会社日本経済新聞社	9,052,710	31.46
新日本観光株式会社	1,753,000	6.09
株式会社テレビ東京	1,373,753	4.77
日本生命保険相互会社	1,036,150	3.60
三井物産株式会社	1,002,050	3.48
株式会社三菱東京UFJ銀行	984,300	3.42
株式会社みずほ銀行	721,040	2.51
株式会社東京計画	660,000	2.29
株式会社東芝	606,900	2.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(注)	590,500	2.05

(注) 中央三井アセット信託銀行再信託分、株式会社三井住友銀行退職給付信託口
 ※上記は、統合3社(テレビ東京、BSジャパン、テレビ東京ブロードバンド)の2010年9月30日最終の株主名簿を基に作成しています。

株価と出来高の推移



(注) 株価は東京証券取引所における各月の始値、高値、安値、終値を示しています。出来高は月の出来高の合計を示しています。
 ※2010年10月1日以降の株価と出来高はテレビ東京ホールディングスの数値です。

アナログテレビ放送をご覧の皆様へお願い

東京タワーのアナログテレビ放送受信用の**VHFアンテナは、地デジの受信にはお使いいただけません**。UHFアンテナの設置が必要です。工事が必要ですので、お近くの電器店、もしくは**総務省地デジコールセンター(0570-07-0101)**へご相談ください。アンテナをお持ちでない方もご相談ください。

東京タワー

UHF 地デジ

VHF アナログ

VHFアンテナ 従来のテレビ放送(アナログ)用

地上デジタル放送 を見るには、**UHF アンテナ** が必要です。

株主メモ (株式会社テレビ東京ホールディングス)

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催(議決権の基準日は毎年3月31日)
剰余金の配当	株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
中間配当	中間配当を実施する場合は、取締役会の決議により、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

ご注意
株式会社テレビ東京の株式に関する未払配当金の支払い、支払細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

単元未満の買取買増以外の株式売買はできません。

外国人等の株主名簿への記載制限
放送法に関連して、当社定款には次の規定があります。

【定款第12条】
当社は、次の各号に掲げる者(以下「外国人等」という。)のうち、第1号から第3号までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合と、これらの者により第4号に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が、当社の議決権の5分の1以上を占めることとなるときは、放送法の規定に従い、外国人等の取得した株式について、株主名簿に記載または記録することを拒むことができる。

(1)日本の国籍を有しない人
(2)外国政府またはその代表者
(3)外国の法人または団体
(4)前3号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体

ホームページのご案内

株式会社テレビ東京ホールディングスのIR情報

Top Page www.txhd.co.jp/
テレビ東京ホールディングスの経営計画や財務情報、株式情報等、株主・投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。

株式会社テレビ東京のIR情報

IR Page www.tv-tokyo.co.jp/kaisha/
テレビ東京の過去の売上実績、有価証券報告書等の各種報告書は、こちらをご参照ください。

番組・事業等の関連情報

Top Page www.tv-tokyo.co.jp/
番組情報をはじめ、テレビ東京が出資している映画・イベント情報等様々な情報をご覧いただけます。



株式会社テレビ東京ホールディングス
ホームページ

お問い合わせ先

株式会社テレビ東京ホールディングス 総務局総務部
〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12 Tel.(代表)03-5473-3001

株式会社テレビ東京 総務局総務部
〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12 Tel.(代表)03-5470-7777